

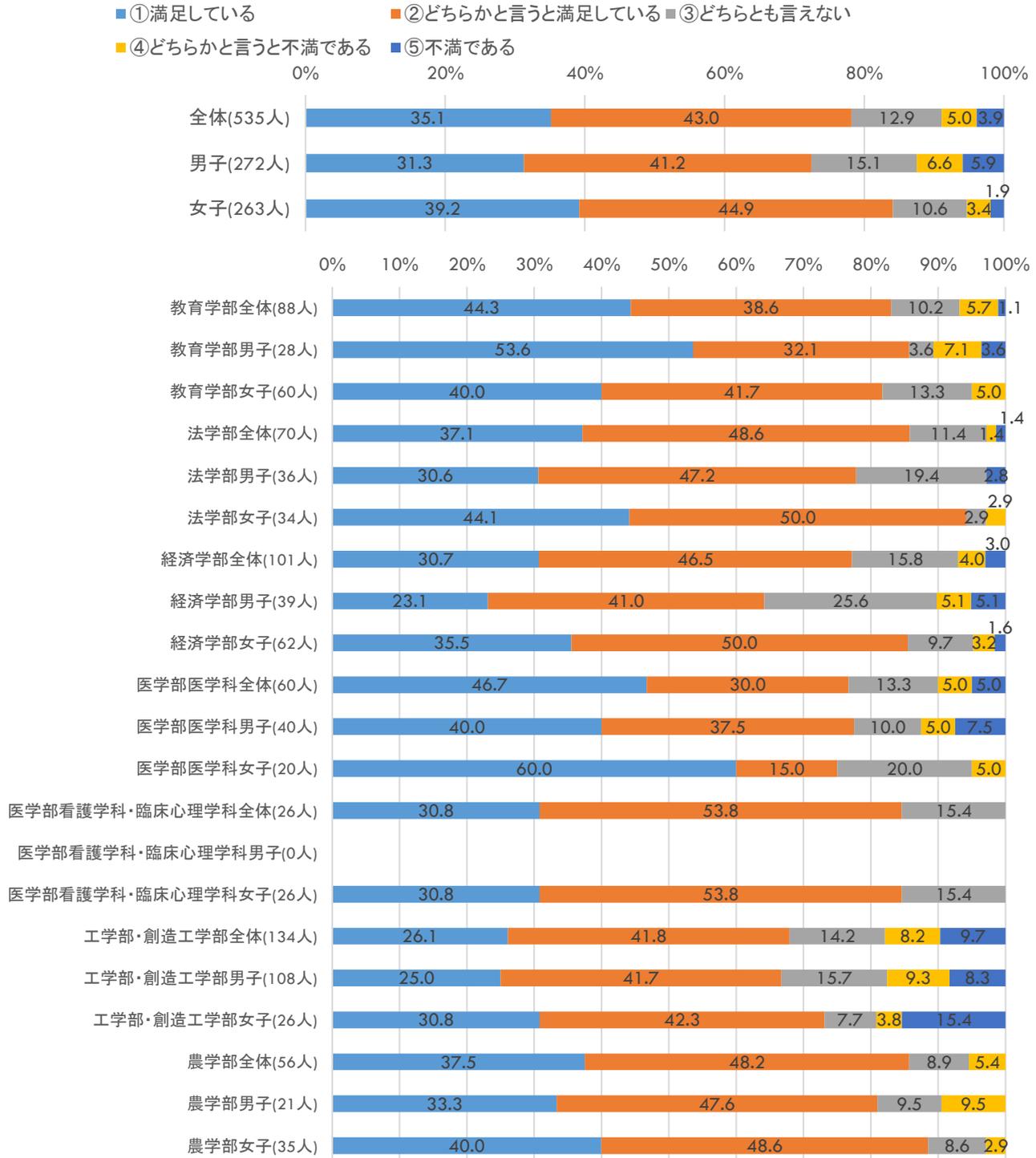
## II キャンパス・ライフ

### 1 学業

#### (1) 学部・学科の満足度

問20 あなたは入学した学部、学科などに満足していますか。

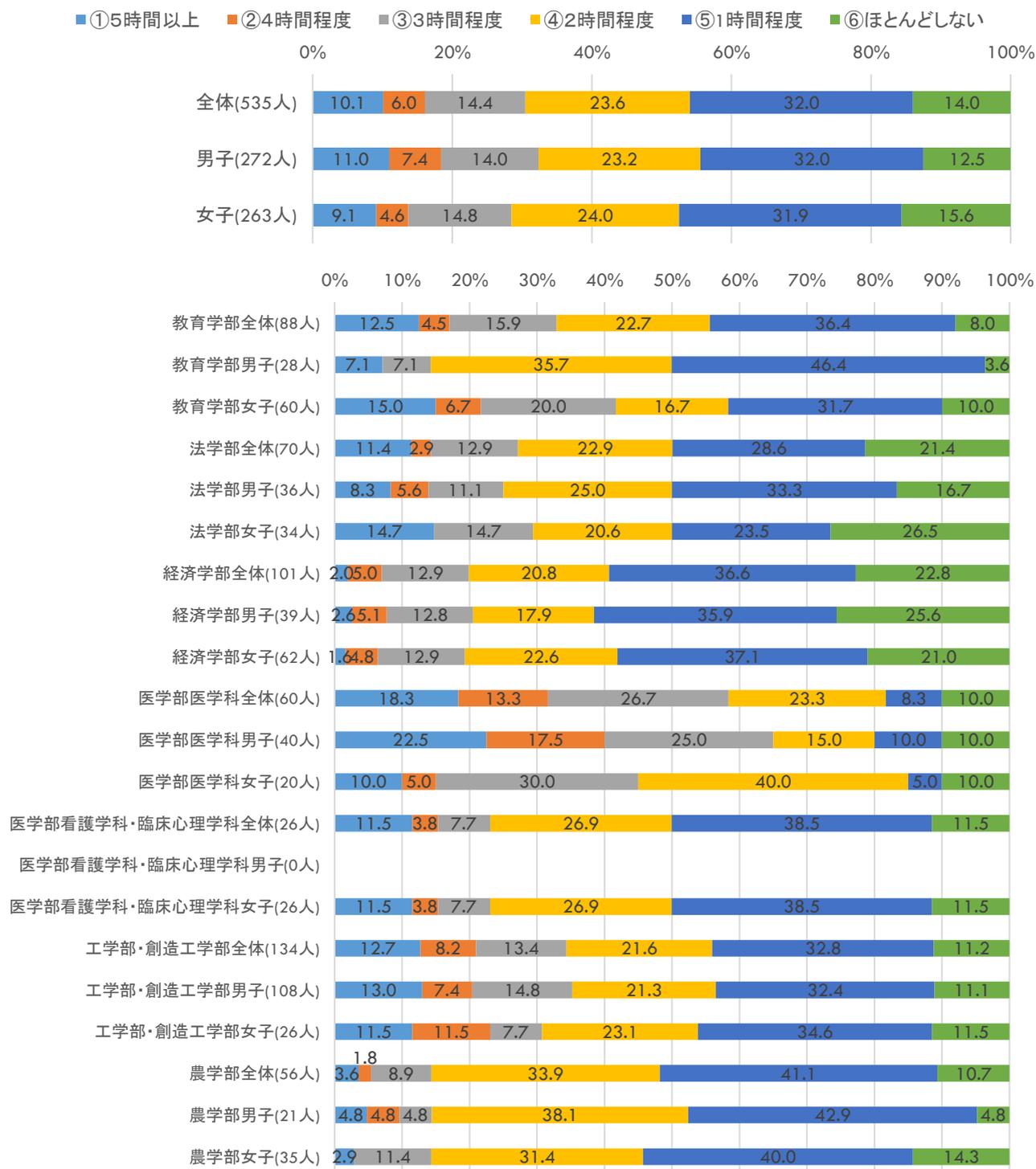
一定の「満足感」を有している学生が3/4を占めており、全般的には多くの学生が満足感をもってキャンパスライフを送っているようです。今回は3年次・4年次生の回答者に占める割合が4割ほどとなり、前回の調査(1年次生が4割を超えていた)よりも、高年次の学生も含めた、学部全体の満足感を評価できるようになりました。このためか、創造工学部・農学部が以前より高めになっています。問26でも見られるように、専門性が高まり、研究室配属などにより教員との交流が密になる高年次で、これらの学部では満足度が上昇するようです。経済学部男子のアンケート回収率と満足度の低さが目立っており、気になるところです。



(2) 1日の勉強時間

問21 大学の授業以外に、あなたは1日平均何時間ぐらい勉強していますか。

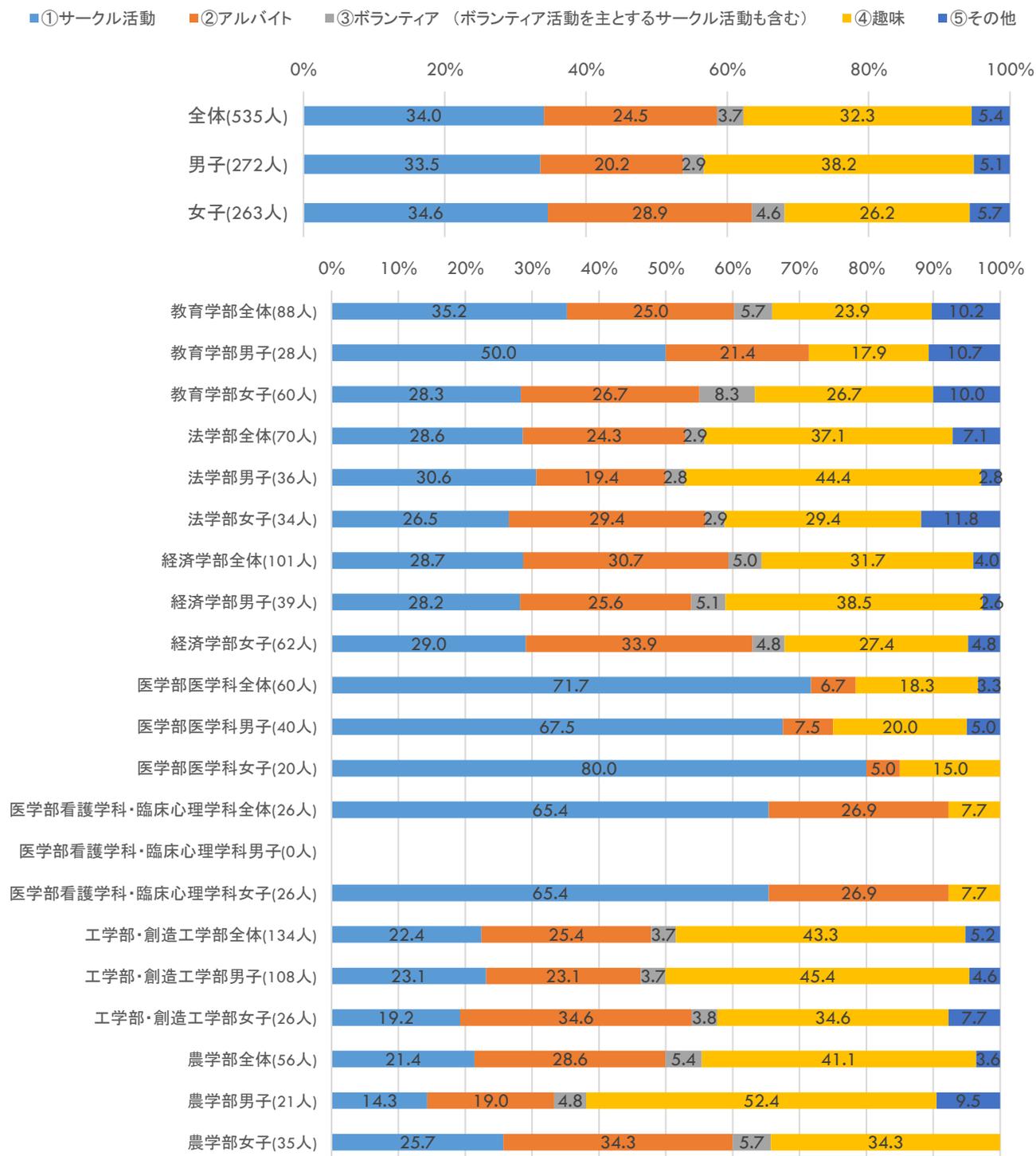
前回調査までは、1日1時間程度以下の学生が6割を占める、という状況が10年以上続いてきていました。今回はこうした学生が5割を切る程度となり、中でも、学部によっては3割を超えていた「ほとんどしない」の割合が半減するなど、自学自習を促す取り組みなどにより、改善されつつあるように見えます。ただ、今回は、アンケート回答者中の高年次学生の割合の向上(在学生全体を反映するため)が図られていることもあり、今後の推移が注目されます。



### (3) 授業以外の取組

問22 大学の授業以外に特にあなたが時間を費やしているものについて、次のうちから一つ選んで教えてください。

サークル活動や趣味に時間を費やしている学生が多く、授業以外の時間の多くがこうした課外活動にあてられていることが推察されます。例年に比べて「サークル活動」の割合が減り、「趣味」の割合が増加しており、余暇の過ごし方にも個別化の傾向が現れているようにも思えますが、実態をより反映できるように高年次生の割合を増やしたためかもしれません。課外活動は人間関係を深め、社会との関係性を育む良い機会となります。自主的な課外活動の充実は香川大学でも推進しているところであり、ボランティア活動を積極的におこなっている学生数も、割合は少ないながら、増加していく傾向にあります。



問23 問22の質問で「5.その他」を選択した方は、具体的に記述してください。

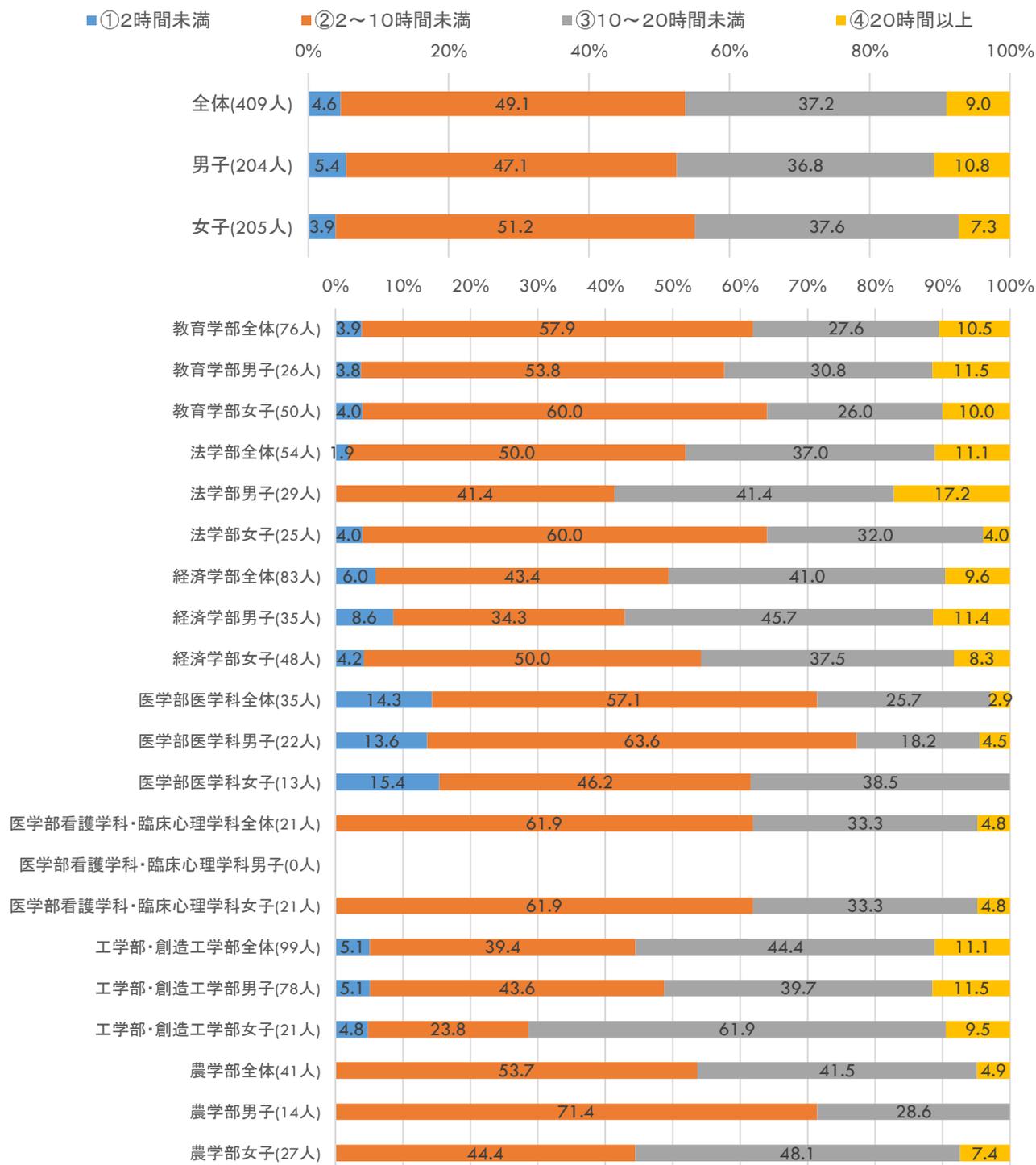
教育学部			
男子学生	[	・教員採用試験・卒論等の勉強 ・部活関係 ・英語の勉強	]
女子学生	[	・研究室の活動 ・部活動 ・就職活動に係る勉強や面接練習 ・教員採用試験対策 ・教員採用試験の勉強	]
法学部			
男子学生	[	・行政書士試験、公務員試験の勉強	]
女子学生	[	・公務員試験の勉強 ・資格試験勉強 ・部活動 ・公務員試験勉強に取り組んでいました。	]
経済学部			
男子学生	[	・部活動	]
女子学生	[	・学生プロジェクト ・睡眠 ・プロジェクト活動	]
医学部医学科			
男子学生	[	・国試勉強	]
女子学生	[	回答なし	]
医学部看護学科・臨床心理学科			
男子学生	[	回答なし	]
女子学生	[	回答なし	]
工学部・創造工学部			
男子学生	[	・レポート等の課題や提出物 ・公務員試験の勉強 ・部活 ・youtubeを見たりTwitterを見たり偶に友達と遊んだりしている ・大学の研究。	]
女子学生	[	・建築に関する勉強、コンペへの応募に向けての勉強・取り組みを行うことが多い。 ・部活動	]
農学部			
男子学生	[	・研究室での活動 ・運転免許の取得	]
女子学生	[	回答なし	]

(4) アルバイトに費やす時間

問24 アルバイトをしている方におたずねします。

アルバイトに費やす時間はどれぐらいですか(通勤時間を含めた1週間当たりの平均)。

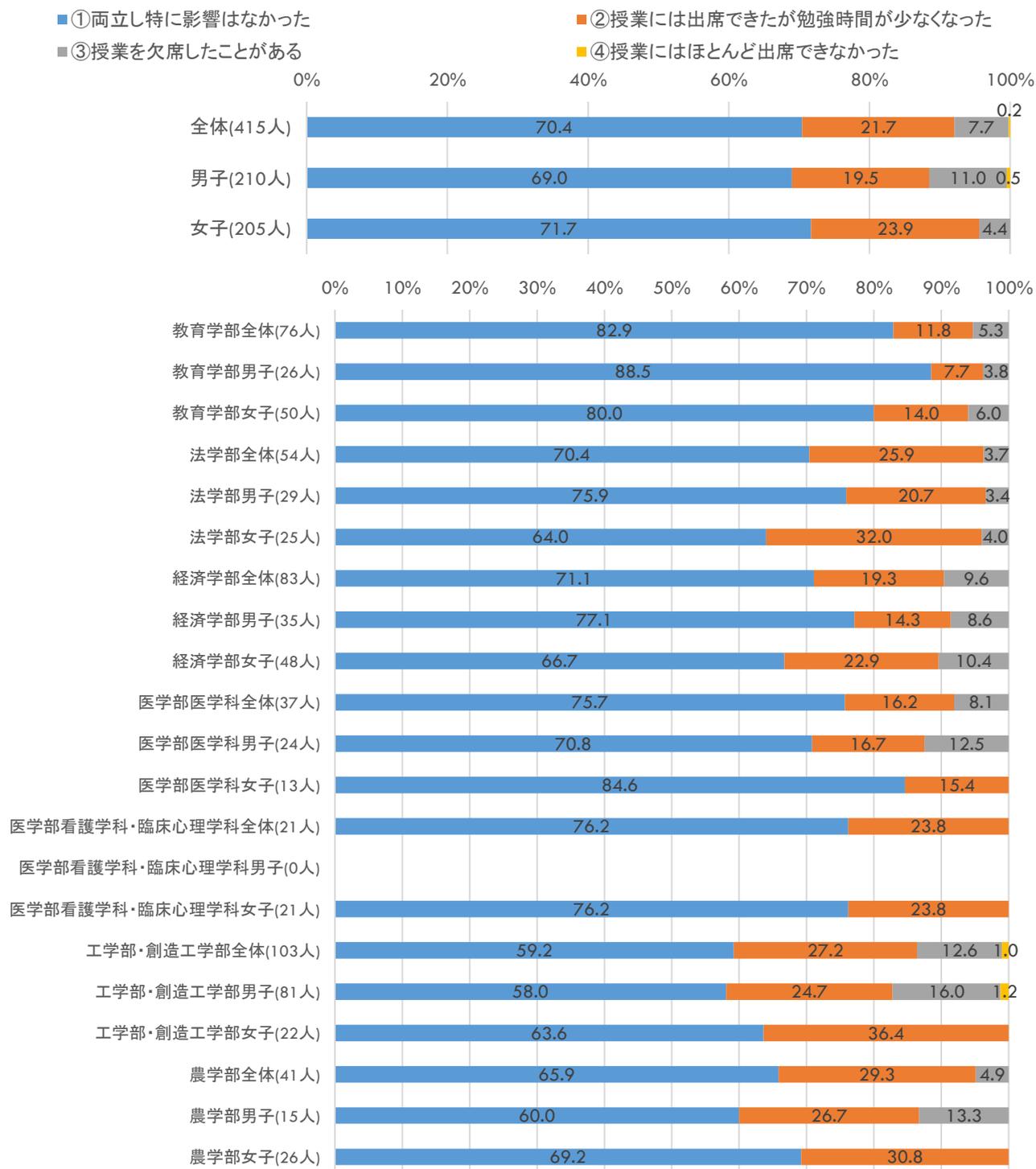
前回調査では「2時間未満」と回答した学生の割合が41%から5%に急減しましたが、現在も、ほぼそのままの状況が続いています。労働時間別の割合も前回調査と同様であり、週10時間以上のアルバイトをしている学生が半数近くに及ぶ、という状況は今後も継続していくものと思われます。新しい学生支援制度により変化がもたらされるのか、注視していく必要があります。



(5) アルバイトと学業との関係

問25 アルバイトと学業の関係はどうでしたか。

多くの学生が「両立できている」としており、その割合は変わっていません。勉強時間・出席に「影響した」とする学生の割合が、新しい支援制度のもとでどう変化するか、注視が必要です。

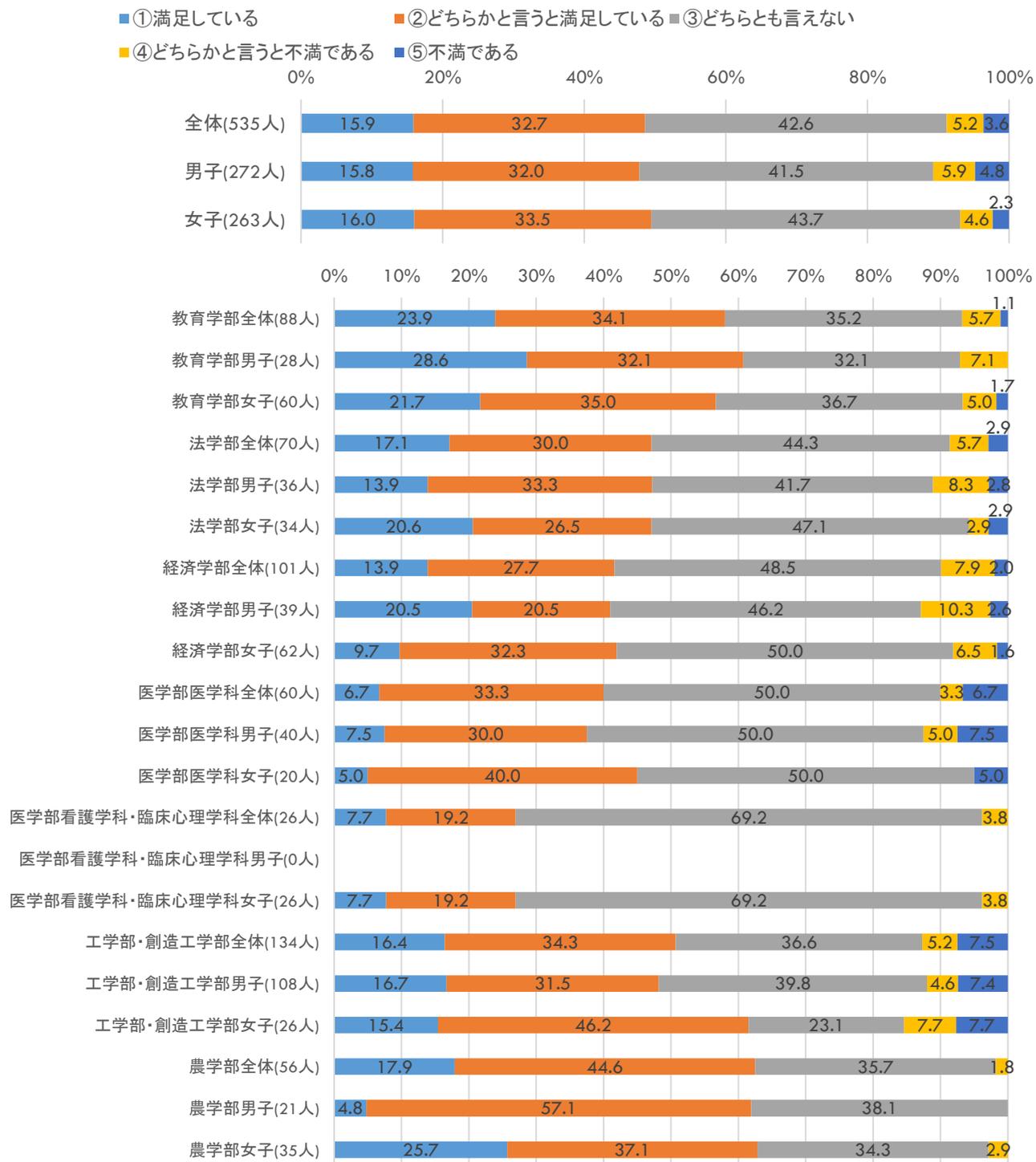


(6) 教員との交流

問26 あなたは本学の教員との交流に満足していますか。

【全体】

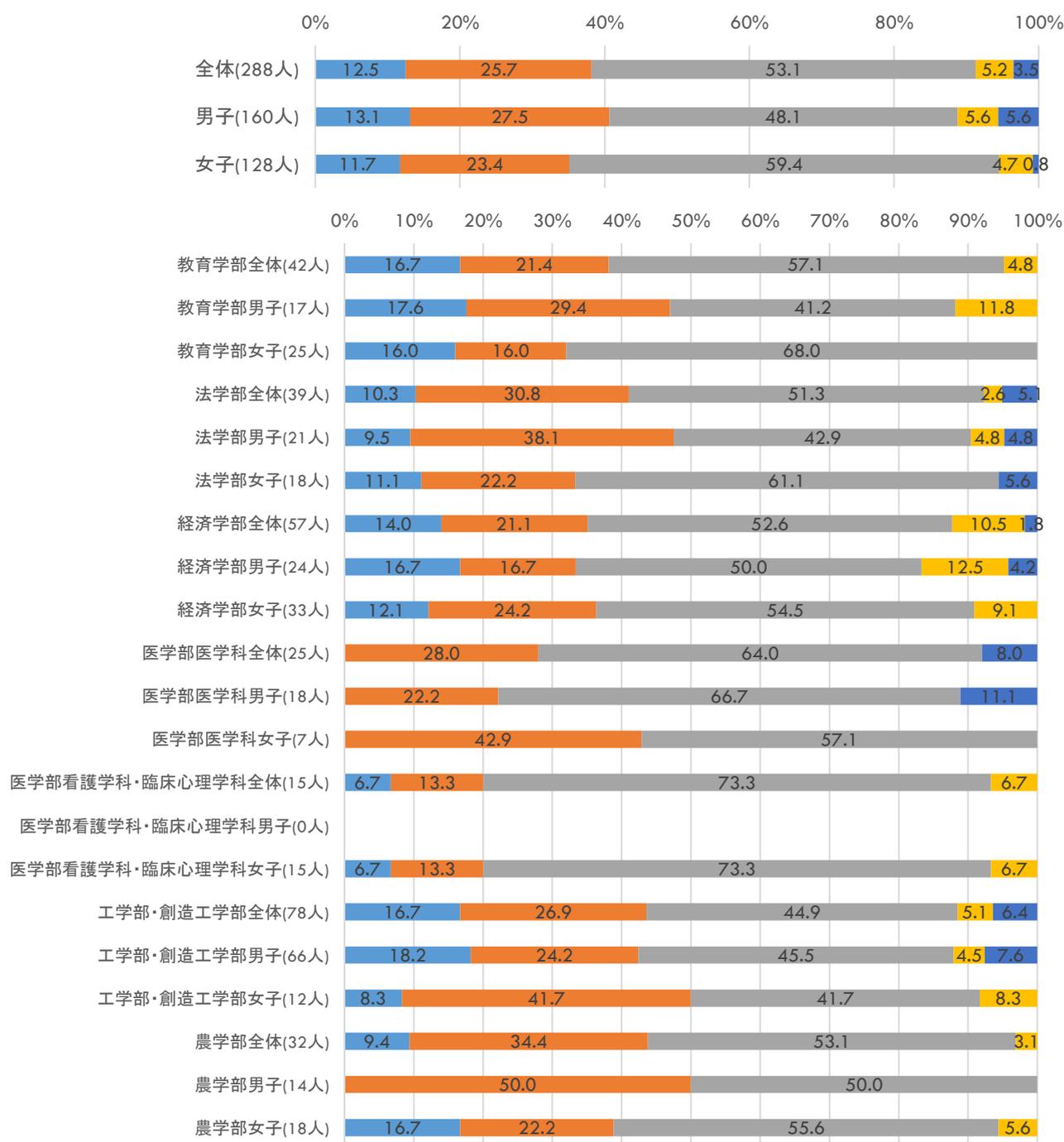
「交流」の密度は学生個人・学部・学年によって、その期待度・実態ともに大きく異なりますが、およそ半分の学生が一定の満足を感じている状況にあります。



【2019・2018年度入学】

低年次では、大教室での座学が多く、満足している学生の割合は低めです。

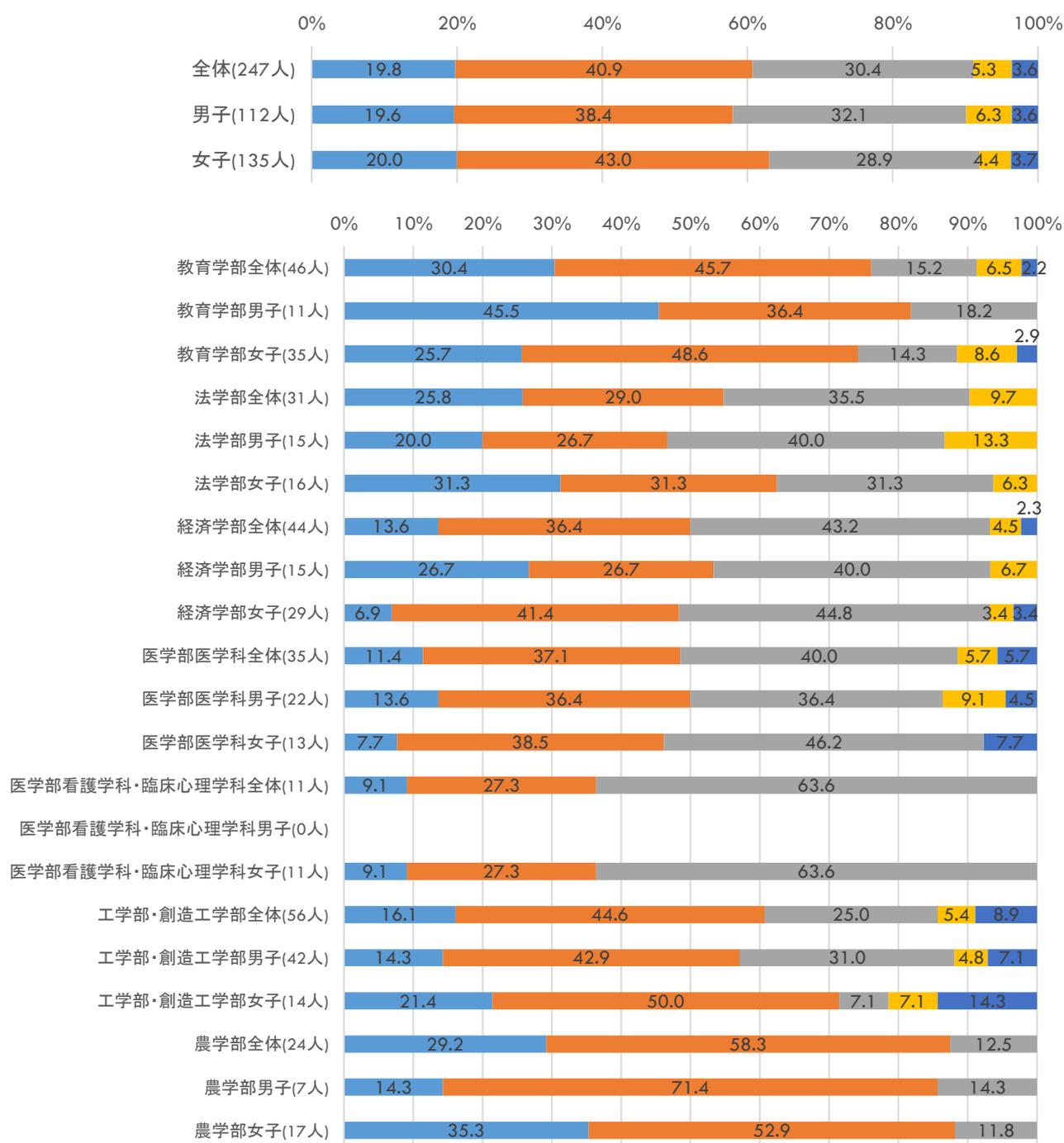
■①満足している ■②どちらかと言うと満足している ■③どちらとも言えない ■④どちらかと言うと不満である ■⑤不満である



【2017年度以前入学】

実習・ゼミ・研究室配属などで、高年次においては教員との交流がより密になり、満足度も上昇します。特に、教育学部・農学部においてこの傾向が顕著です。

■①満足している ■②どちらかと言うと満足している ■③どちらとも言えない ■④どちらかと言うと不満である ■⑤不満である

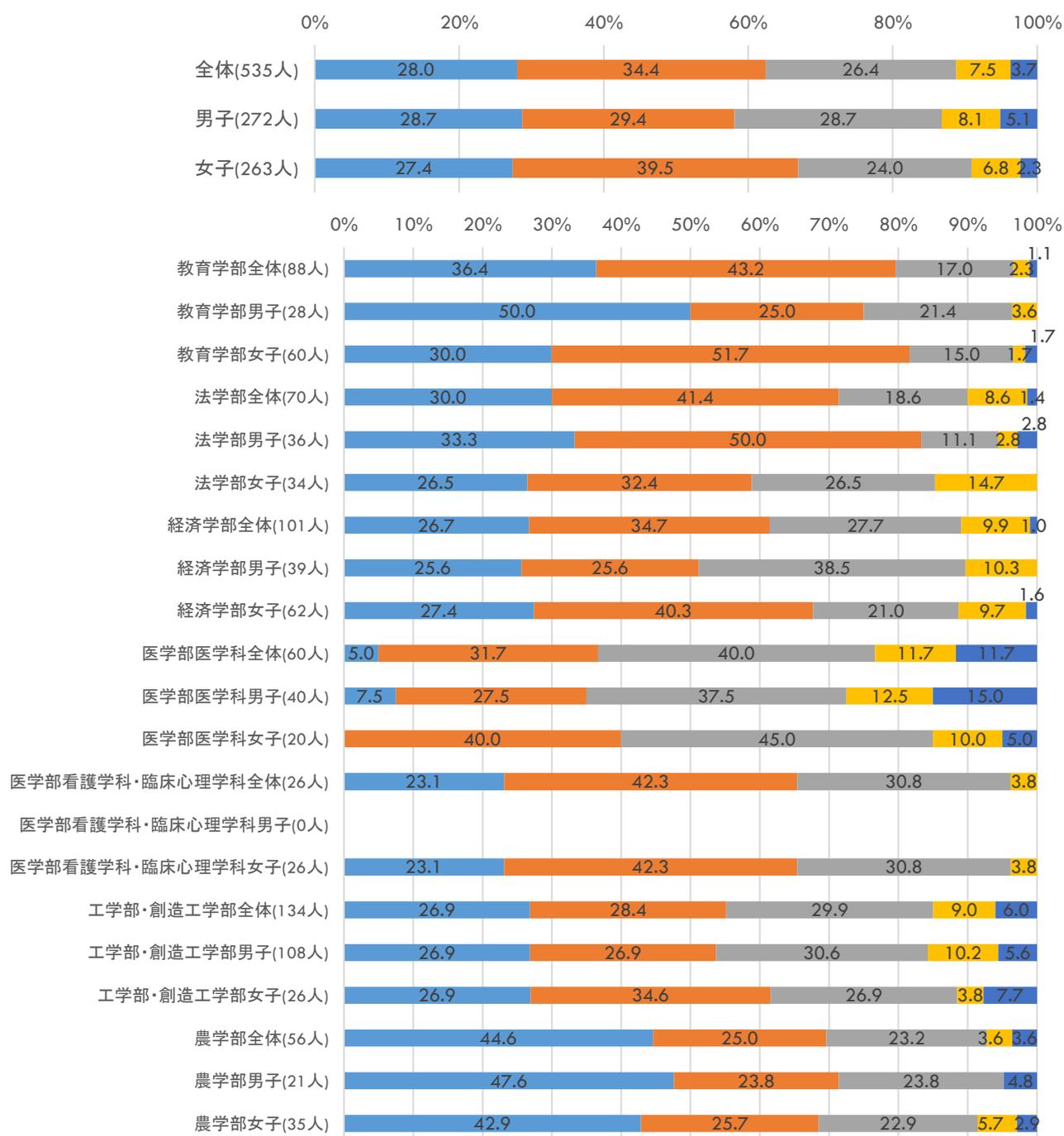


(7) 学生窓口(各学部の学務係等)の対応

問27 あなたは学生窓口(各学部の学務係等)の対応に満足していますか。

およそ6割の学生が一定の満足を感じています。医学部医学科の満足度の低さ・不満度の高さが、他学部  
に比べて突出しているのが気になるところです。

■①満足している ■②どちらかと言うと満足している ■③どちらとも言えない ■④どちらかと言うと不満である ■⑤不満である



(8)バリアフリー支援室

問28 あなたはバリアフリー支援室を知っていますか。

認知度は上昇傾向にあります、3人に1人とどまっています。

